

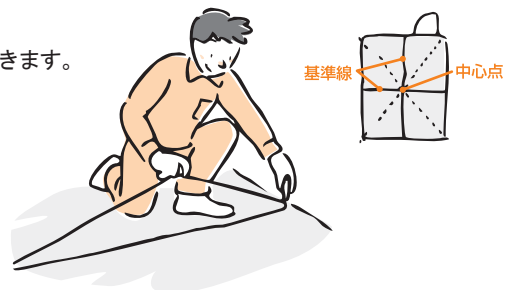
籐・竹ロール床材

施工前の確認

下地面のチェック	
施工用具のチェック	
接着剤の用意	

1 床面の中心点及び基準線の設定

床面の中心点を求め
基準線を線引き用墨などで引きます。



2 商品を現場に仮敷きして確認

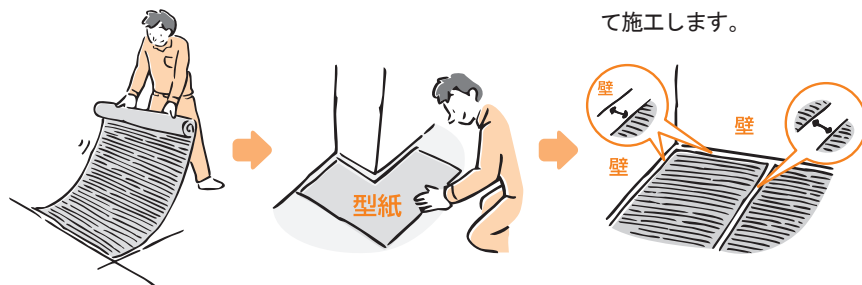
商品を仮敷きし、必要に応じてカットします。

入隅、出隅のある場所は
型紙で型合わせをします。

ジョイントおよびコーナー
部分は所定のすき間を設け
て施工します。

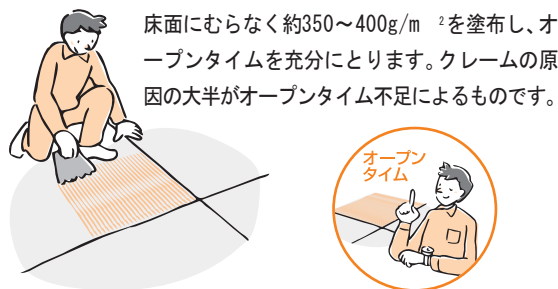
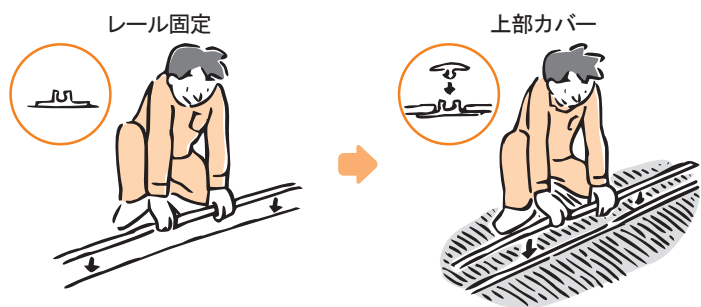
すき間を作る際のポイント

- 壁側 籐：5～8mm
 - 竹：5mm
 - 籐：7～10mm
 - 竹：5～7mm
- ※ 床暖房のある場所は空間を約3mmまで



3 ジョイント部分やコーナー部分にレールを固定

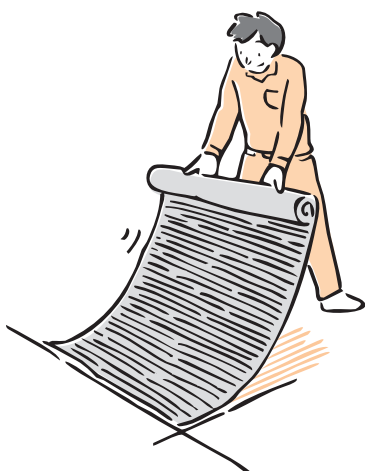
4 接着剤の塗布



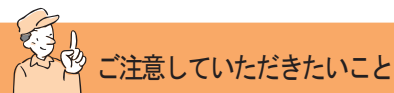
床面にむらなく約350～400g/m²を塗布し、オープンタイムを充分にとります。クレームの原因の大半がオープンタイム不足によるものです。

5 商品の敷きつめ

6 施工後の圧着・養生



施工後はピラ方向にローラー（約30～40kg）で押さえて仕上げてください。（ローラーに当布を付けるとスムーズに仕上げができます。）



塗布量が少ない時や、ローラー圧着が少ないと、ふくれや浮き上がりが生じる恐れがありますので、必ず手順に従って施工してください。

おすすめの施工部材

- 木目調ジョイント材 5mm US-13S
- 木目調コーナー材 5mm US-14S
- 塩ビジョイント材 5mm US-33P
- 塩ビコーナー材 5mm US-34P